



日本医師会
Japan Medical Association

2017年12月7日

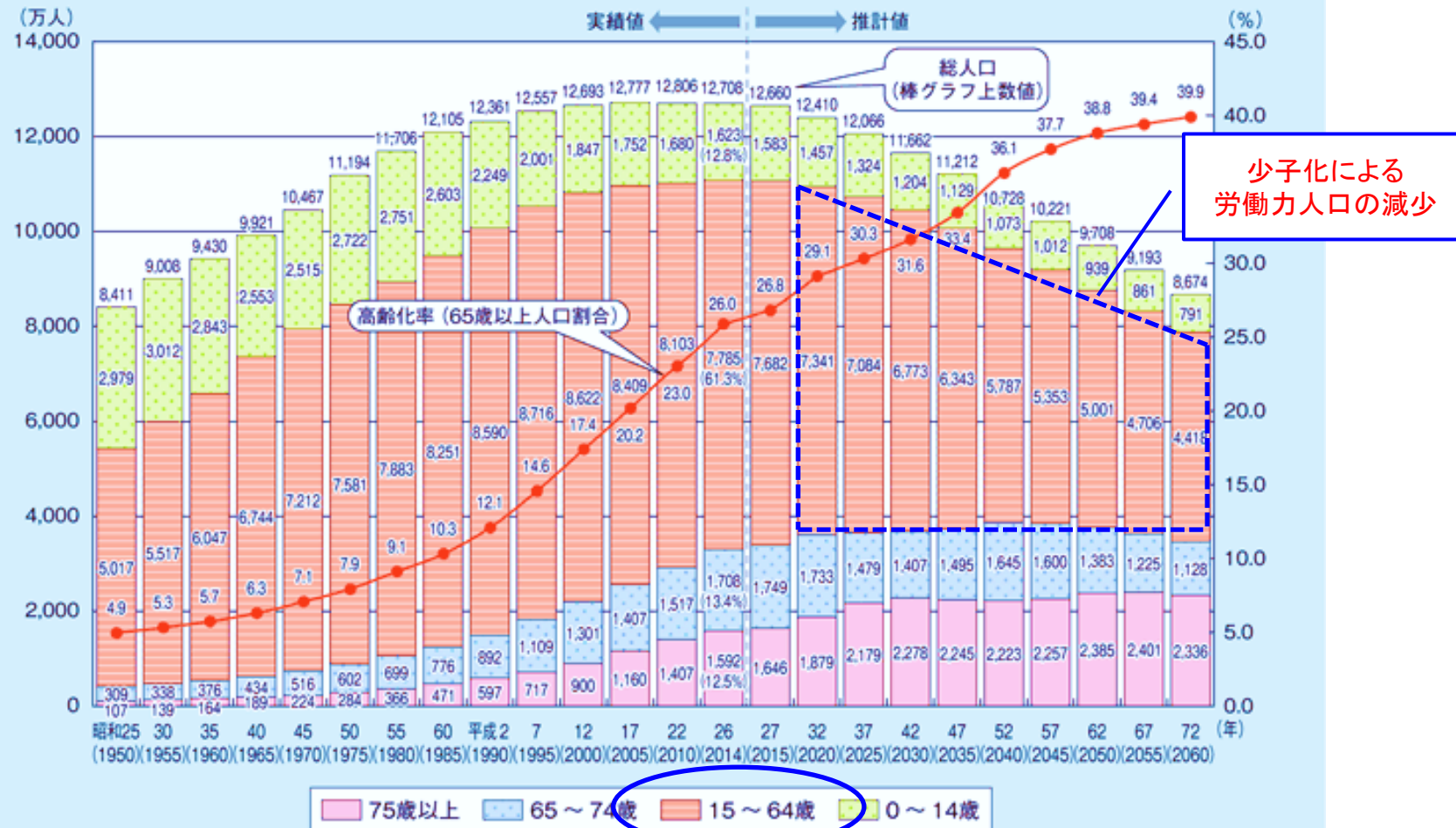
医療機関における電磁環境の整備

医療機関における安心・安全な電波環境促進シンポジウム

日本医師会常任理事
石川 広己

人口構成の将来推計

図1-1-2 高齢化の推移と将来推計



資料：2010年までは総務省「国勢調査」、2014年は総務省「人口推計」（平成26年10月1日現在）、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成24年1月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果
 (注) 1950年～2010年の総数は年齢不詳を含む。高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。

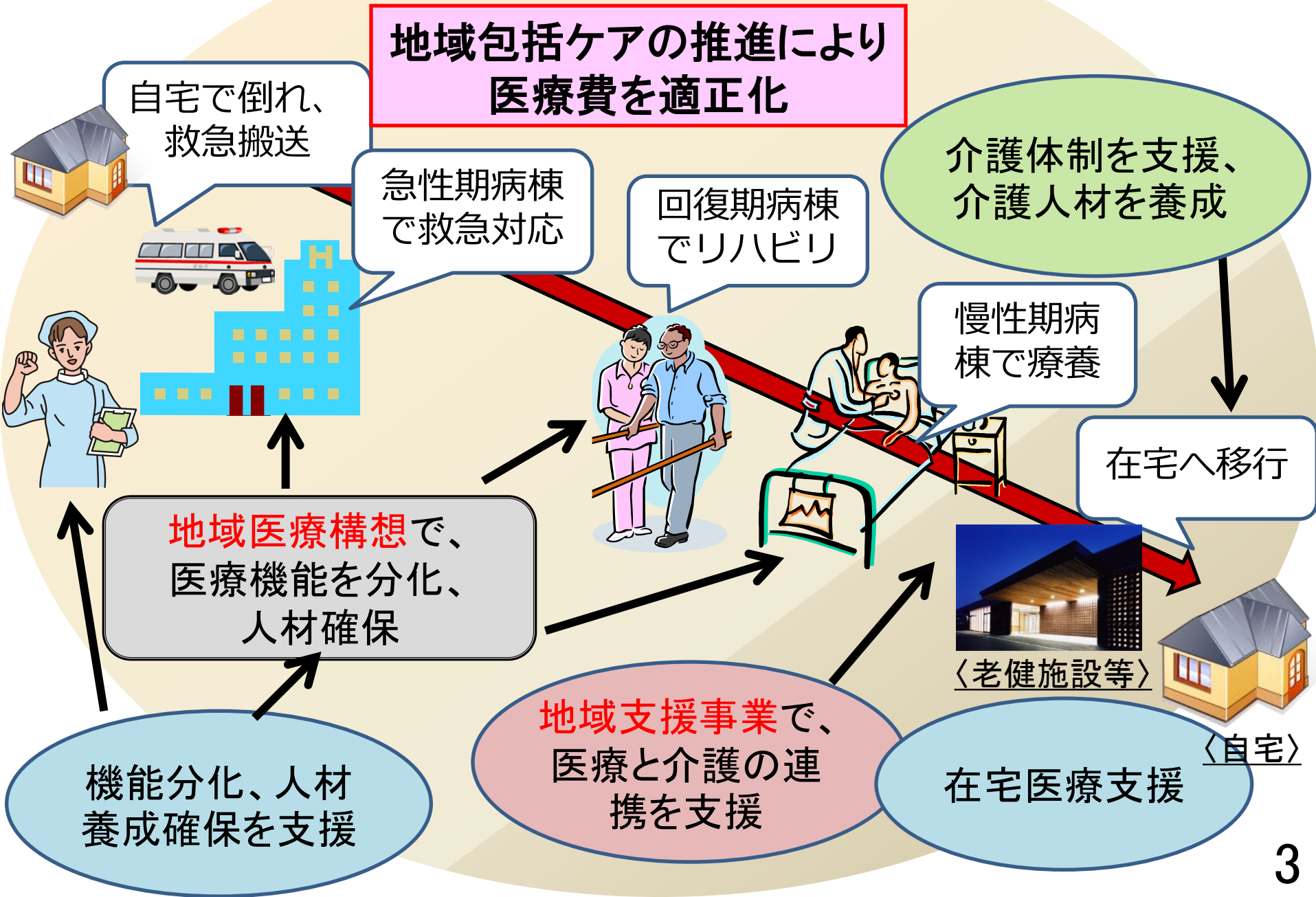
(平成27年版高齢社会白書)

地域包括ケアシステムとは

住まい・医療・介護・予防・生活支援 が包括的に提供される
地域包括ケアシステムの実現により、重度な要介護状態となっても、
住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで継続できる



医療と介護の総合的な確保



医療・介護情報連携にICT導入を

- ・2025年に向けた医療介護総合確保法

医療機関の役割分担(地域医療構想)の推進

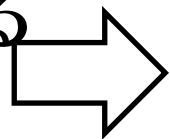
住まいを中心とした地域包括ケアシステムの構築

地域医療構想と地域包括ケアシステムは車の両輪

- ・医学医療の高度化・細分化、医師・診療科の偏在

医療介護情報連携の充実は最も必要

- ・さらに様々なICT環境の進歩から情報のデジタル化が求められる



医療介護連携のICT化の要求

医療の電子化、ICT化の進歩

- 科学の進歩とともに医学医療そのものの進歩
- コンピューターの進歩

あらゆる医療分野に電子化の波
診断・治療

- 先進医療の普及発展
- 遺伝子医療などの導入
- AIの導入

医療機関内の現状、電子機器の導入

- ・医療用電子機器の「氾濫」

 - 事務用電算機器（受付から会計まで）

 - 診療用電算システム

 - 連携用電子機器（院内PHS、看護用PCPad）

 - 院内LAN、Wi-Fi

 - 診断用機器（レントゲン、超音波機器等）

 - 治療用電子機器（ペースメーカー等）

- ・患者・家族による入院居室、外来スペースへの電子機器持ち込み、使用・・・携帯電話、PC、ゲーム機器

医療機関内における電磁環境の認識

1. 医療機関内の電磁環境の整備の必要性

- ・医療機器の安全性確保

 - 電波使用機器の誤作動

 - テレメーターの誤作動など

 - 電磁波による点滴ポンプ等の誤作動

- ・建物外からの影響

2. 通信機器の使用とその影響について

- ・医療従事者間の使用通信機器

- ・医療機関利用者の通信機器使用

3. この現状を医療機関管理者(会)が認識を改める

医療機関内における電磁環境の整備

- ・医療安全の面、医療管理として

 - テレメーターなどの電子機器誤作動の認識

 - 院内LAN、Wi-Fi等の構築における安全性確保

 - セキュリティ確保、電磁的混乱の回避

 - 点滴ポンプ等の電磁波による誤作動の認識

 - 医療従事者間の連絡用機器の整備

- ・患者アメニティの確保

 - 入院居室での通信機器使用

 - 外来等共有スペースでの通信機器使用

日医IT化宣言2016

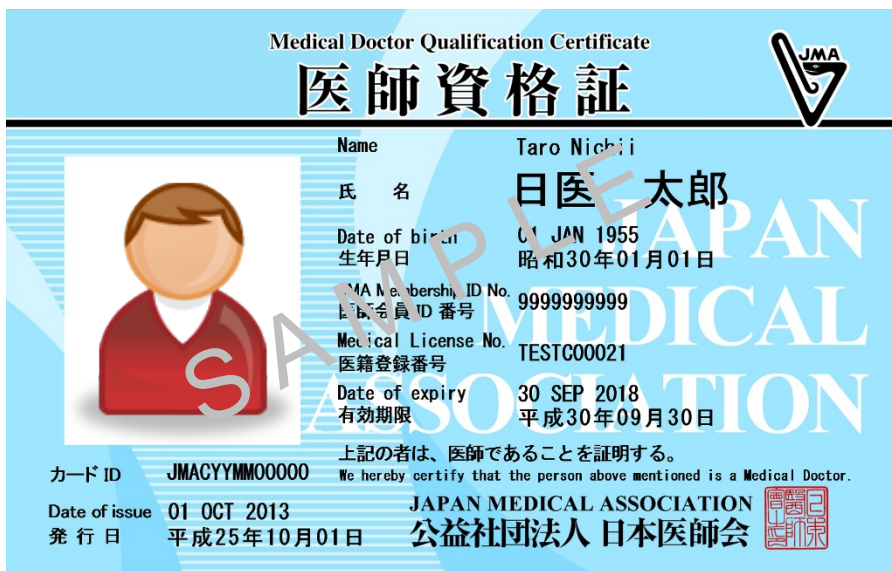
ORCAプロジェクト推進をメインとした日医IT化宣言（H.13年）に代わり、今後の日医の医療分野のIT化における取り組みの指針として、H.28年6月に公表



- 日本医師会は、安全なネットワークを構築するとともに、個人のプライバシーを守ります。
- 日本医師会は、医療の質の向上と安全の確保をITで支えます。
- 日本医師会は、国民皆保険をITで支えます。
- 日本医師会は、地域医療連携・多職種連携をITで支えます。
- 日本医師会は、電子化された医療情報を電子認証技術で守ります。

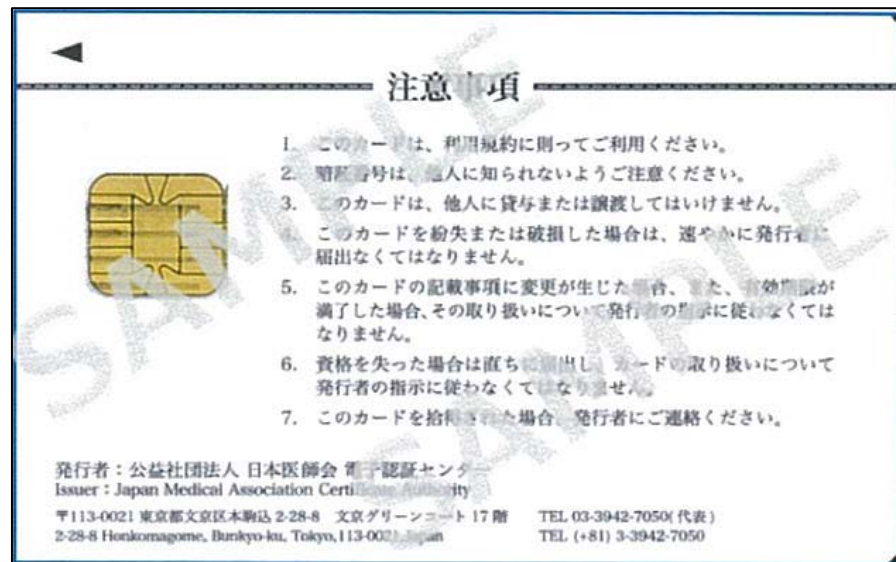
医師資格証

日本医師会（電子認証センター）が日医認証局から発行するICカードの券面を「医師資格証」としました。



（表）

- ◆ ICカードの有効期限：6年
- ◆ ICチップの中の情報（電子証明書）の有効期限：2年



（裏）

ご清聴ありがとうございました。



きっとあなたの町にも、
かかりつけ医が、います。

日本医師会のTV-CM

日本医師会